

ネットワーク化による農産物直売所の魅力づくり

活動期間：平成27年度～平成28年度

課題と背景

泉州管内には常設の農産物直売所が10カ所以上あり、地域の消費者への地元産農産物や加工品の供給や、直売所に出荷する農業者の所得向上に、大きな役割を果たしている。

これら直売所は、特色ある売り場づくりや魅力ある集客イベントの開催など、共通する課題がある。そこで、農の普及課は、直売所が互いに情報交換できる場を作り、連携して研修会やイベントを実施する取組を支援した。

普及活動：その1

◎農産物直売所連絡協議会の設置（平成27年8月）

大阪南部の11カ所の直売所が、直売所運営などについて情報交換したり、連携して共通課題を解決するネットワーク組織

普及活動：その2

◎直売所合同キャンペーンの実施（平成28年10月21日～11月30日）

イベント期間中、直売所で1,000円購入ごとにスタンプを押印、5つ集めると抽選で直売所から賞品がプレゼント



普及活動：その3

◎直売所運営者向け研修会の開催（平成28年9月29日～30日）

「直売所の個性を活かした売り場づくり」をテーマに現地指導と研修会を開催



普及活動の成果

◎イベント開催により、農産物の端境期である11月の販売金額、来客数が増加！

◎2年間で延べ5,906人がキャンペーンに応募
⇒ 大阪産(もん)農産物の知名度アップ！
⇒ 約3,000万円の経済効果！

直売所の販売金額(万円)

